

# しん・かるちよぷろじえくと2022

～サッカーから始まる人間力～



GROUP NAME: ぷらいど

# CONTENTS

- 1.2022年度 目標 ……3ページ
- 2.なぜサッカーなのか ……5ページ
- 3.自己決定力・判断力を高める ……6ページ
- 4.昨年度の活動 ……15ページ



しん・かるちよぶろじえくと2022  
～サッカーから始まる人間力～

# 世界で活躍できる 人材の育成

全国大会 優勝

東北主催の大会 進出

園主催の大会 開催

試合観戦

スキルアップ

練習試合

応援団の結成

## 世界で活躍するために 大切にしていくこと

判断力

人間性

自己肯定感

経験



### ・判断力

→様々なことを自分で考え解決できるようにしていく

### ・人間性

→思いやり・挨拶やマナーを身に付ける。

### ・自己肯定感

→自信を持って生活できるようにしていく。

### ・経験

→成功や失敗等を繰り返していく中で生きていくために必要な力を身に付けていく。

# なぜサッカーなのか！？

「判断できる子」が育つ！！

- ・ 判断できる子は、自分で考えることが習慣化している子です。
- ・ 集団の中で自分で考え「やってみよう」と挑戦し、成功と失敗を繰り返します。
- ・ 「正解」を鵜呑みにせず「目的」から逆算してベストを尽くす、そんな繰り返しの場面がサッカーにはたくさんあります！

「サッカーを通しての子どもたちの変化」

- ・ 引っ込み思案で体を動かすことに消極的だった子がサッカーをする中で体を動かすことの楽しさを知り、元気に挨拶をしたり、自分からお友だちを誘って遊んだり出来るようになった。
- ・ 「もう無理、できない」とすぐに諦めてしまう子が日に日にサッカーの技術が上達していくことで喜び、自信に繋がり、跳び箱や縄跳びなど様々なことに対し意欲的に挑戦する事ができた。

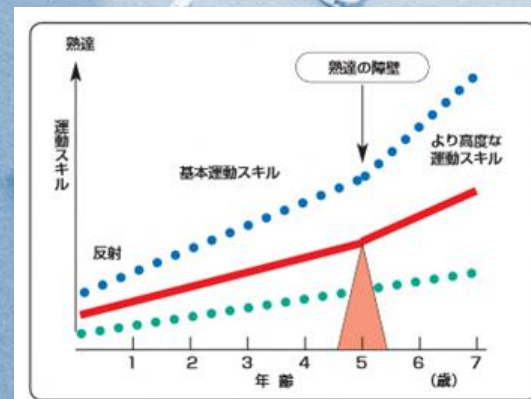
## 7歳までで決まる運動能力

- ・ 運動スキルの発達は、7歳頃から個人差が大きくなります。

要因として熟達の障壁の存在が考えられます。5歳頃までに

基本運動スキルがマスターできていない子どもは、その障壁につまずきやすいです。

- ・ 発育発達の観点から、幼児期の外遊びや多種多様な運動経験が、将来の成長に非常に大きな影響を与えることがわかっています。



しん・かるちよぶろじえくと2022  
～サッカーから始まる人間力～

# 自己決定力・判断力を高める。

矜持福祉会のめざすこども像の1つである

## 「自分で考えられる賢さをもつ子」

大人になるにつれ、自分で考えて行動できることの大切さを実感する方も多いと思います。それらは、ある年齢に達したら突然身につくものではなく、ありません。子どもの頃から徐々に身につけていくことが必要です。

◆サッカーは常に状況が変化するスポーツだから自分で考えて判断する力がつく

サッカーは、ピッチにいる間は、常に状況が変化し、その場面場面で瞬時に最善の判断をしなければなりません。ドリブルをするのかパスをするのか、右に行くのか、左に行くのかなど自分で判断することを繰り返し行います。サッカーを通して、判断力、決断力、そして生きる力が育ちます。



©2022社会福祉法人矜持福祉会



©2022社会福祉法人矜持福祉会



©2022社会福祉法人矜持福祉会

しん・かるちょぶろじえくと2022  
～サッカーから始まる人間力～

その他の取り組み

〈選択制の保育〉

製作や遊びでは何種類か準備し自分で選ぶ。

「自分で決める。自分で考える。」を未満児クラスから習慣化していくことで、子どもたちの行動を大切に繋げていく。

〈かるちょカリキュラム〉

サッカー、ダンス、イングリッシュのカリキュラムを強化し、社会に適応する能力をサッカーを通して向上させます。

- ・ サッカーカリキュラム : スキルの種類を増やす
- ・ ダンスカリキュラム : サッカーに必要なリズム感を養う
- ・ イングリッシュカリキュラム : 英語力を強化し世界を目指す



©2022社会福祉法人矜持福社会

# 専門のコーチによるサッカー指導

○サッカーカリキュラム

クーパーコーチング サッカースクール

○特別サッカー教室(キッズプログラム)

福島ユナイテッドFC



プロのサッカーコーチを招き年齢や発達段階に応じた練習の指導を受けています。

一緒にボールを蹴り、楽しくサッカーをすることで体力の向上を図り、挑戦する気持ちや悔しい気持ちから学ぶ強い心を育て、自己肯定感を高めていきます。





しん・かるちよぶろじえくと2022  
～サッカーから始まる人間力～

## 重点強化事業企画 I

- 事業名: **KYOJIプログラム**
- 開催期間: 第2木曜日
- 対象: 4・5歳児
- 場所: てぞーろ保育園園庭
- 内容: 選択保育(サッカーor運動遊び)
- 目的: 自分でやりたいものを選択し、技術向上を目指したり、体を動かしたりする楽しさを感じる。
- 事業名: **園主催の大会 開催**
- 開催期間: 令和4年 11月
- 対象: 4・5歳児
- 場所: 十六沼運動公園
- 内容: 福島県の保育園・幼稚園に参加を募り、サッカー大会を開催。マスメディアなどに取材を依頼し、福島を発信します。



しん・かるちよぶろじえくと2022  
～サッカーから始まる人間力～

## 重点強化事業企画Ⅱ

- 事業名: **全国大会 優勝**
- 開催期間: 2月
- 対象: 4・5歳児
- 場所: 未定
- 内容: 全日本キンダーサッカー選手権に参加します。  
年長と年中混合チームを結成し、  
全国大会への出場権を獲得します。  
各地方の予選で勝ち進んだチームと対戦し  
優勝を目指します。
- ねらい: 日頃の練習の成果や、サッカーが好きな気持ちを  
沢山ピッチで表現してサッカーを楽しむ。  
真剣勝負の中で、新たな楽しみや思い、経験をして  
「ぼくたち(私たち)だって」と新たな一歩を踏み出す  
きっかけを作る。

※東北予選大会  
昨年度は12月18日(土)に開催場所はMIFA Football park 仙台

※全国大会  
昨年度は2月27日(日)に開催予定だったが、新型コロナウイルス  
感染症のため中止



©2022社会福祉法人矜持福社会



©2022社会福祉法人矜持福社会



©2022社会福祉法人矜持福社会

## 重点強化事業企画Ⅲ

- ・ 事業名: **プロサッカー選手との交流**
- ・ 内容: 福島ユナイテッドFCの山本海人選手(元日本代表)を招き一緒に遊んだり、サッカーを教わったりする中で、運動神経やコミュニケーション能力の向上を図ります。



## しん・かるちょぶろじえくと2022

～サッカーから始まる人間力～

### ●かるちょ応援団の結成

対象：3・4歳児

内容：おるそ（5歳児）の試合を応援に行きます。

年長児の試合を応援する。

応援を通して、自分も早くその場に立ちたいという期待を持てるようにする。



### ●かるちょランチ（食育活動）

対象：0～5歳児（全園児）

内容：成長に必要な栄養素を考慮した「かるちょランチ」を提供します。

毎日の給食を通して健康や食物の関心に興味関心を引き出します。



### ●未満児によるサッカー保育

対象：0～2歳児

内容：ボールを使った遊びをする。蹴る、投げるなどボールの存在を身近に感じ、身体機能の向上を図る。



# 子どもたち・保護者の声



## ・子どもたちの声

「サッカーしたい！」

「どうしたらもっとサッカー上手になれるかな」

「いろいろな人と試合してみたいな」

「大きくなったらサッカー選手になりたい！」

## ・保護者の声

「こんなに上手だなんて知りませんでした。」

「体を動かす事が好きになったみたいでボールを一生懸命追いかける姿を見て驚きました。」

「体力がついて、ご飯をモリモリ食べるようになりました。」

※子どもたちの姿を見ることが困難なコロナ禍の今、「見せる保育」にも力を入れ、オンラインでサッカー中継を行っています。

日々の姿も随時更新中



# 令和4年度年間計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体力UPプログラム	[Progress bar]											
サッカーカリキュラム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ダンスカリキュラム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
英会話カリキュラム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
特別サッカー教室				●				●				
特別コート練習			●				●					
かるちょ応援団			●				●				●	
親子サッカー観戦		●										●
園主催の大会								●				
東北主催の大会									●			
全国大会											●	



昨年度の活動内容

# 実績 I

- 事業名: **親子サッカー**
- 開催期間: 令和3年9月22日(水)
- 対象: 3~5歳児 49名
- 場所: Jヴィレッジ(National Training Center)
- 内容: サッカースクールコーチの指導のもと、いつもとは違った雰囲気の中で、大好きなお父さん・お母さんと一緒にサッカーの練習を楽しみました。親子で体を動かして笑顔いっぱいの1日となりました。

保護者の方からは  
「一緒にサッカーが出来て楽しかった・良い思い出になった」  
「こんなに上手だったなんて知りませんでした」などと  
子どもの成長を感じることができていました。



©2022社会福祉法人矜持福社会



©2022社会福祉法人矜持福社会



©2022社会福祉法人矜持福社会



# 実績Ⅱ

- 事業名: **矜持フェスティバル2021**
- 開催期間: 令和3年11月9日(火)
- 対象: 4~5歳児 28名
- 場所: トヨタクラウンアリーナ
- 内容: 4~5歳児混合チームを作り、総当たり戦で試合を行いました。チーム名を子どもたちで決め、協力したり、相談したりしながら楽しむことができました。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小しての開催。



# 実績Ⅲ

- 事業名: **サッカー観戦**
- 開催期間: 令和3年3月27日(日)
- 対象: 5歳児 8名
- 場所: Jヴィレッジ(National Training Center)
- 内容: J3リーグ第3節  
福島ユナイテッドFC VS Y.S.C.C横浜の  
試合観戦しました。子どもたちは会場で配られた  
応援グッズを持ち観戦を楽しみました。  
試合後は選手と触れ合う事ができました。



しん・かるちよぶろじえくと2022

～サッカーから始まる人間力～

令和3年度実績一覧

時期		内容
4月	ボール遊び・体カづくり	4/7,21サッカー学校
5月		
6月		
7月		7/16食育活動 7/20JFAキッズプログラム 7/1,15 サッカー学校
8月		8/5,19サッカー学校
9月		9/22親子サッカー
10月		10/7特別サッカー教室 10/16矜持カップ
11月		11/9矜持フェスティバル2021 11/16JFAキッズプログラム 11/4,19 サッカー学校
12月		12/27 食育活動 12/16サッカー学校
1月		1/20サッカー学校
2月		
3月		3/27 サッカー観戦

2006年...

前身の保育園設立時、  
イタリアで活躍する  
一流のサッカー選手に憧れて...

